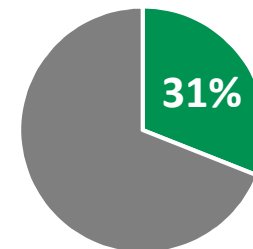


投融資先へのエンゲージメント状況（2024年3月末時点）

実施社数	対話テーマ	2021年度	2022年度	2023年度
累計：43社 (2023年度：25社)	気候変動	4社	14社	25社
	自然資本・生物多様性	－	10社	9社
	人権	－	13社	11社
	人的資本	－	4社	9社
	ガバナンス（女性管理者比率等）	－	4社	10社

エンゲージメント先の排出量が、投融資先排出量全体に占める割合



エンゲージメント事例

1.課題設定		2.実施先検討		3.実施	4.フォロー
テーマ	目的	投融資先	実施時期	対話内容	今後の対応
気候変動	ネットゼロ達成に向けた排出量上位先の投融資先との対話。	ガス A社	2023年5月	<ul style="list-style-type: none"> 排出量削減の課題（技術開発、バリューチェーン）を確認。トランジションに伴うScope1・2の増加見込みに係る開示を依頼。 気候変動に伴う財務影響や、開示を拡充すべき内容について意見交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 当行から依頼したScope1・2の見込み値について、公開情報等でフォロー。
	気候関連リスク・機会への投資に係る財務影響の確認。	電力 B社	2024年1月	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に向けた取組みの進捗状況を確認。 再生可能エネルギーの拡大余地について確認・意見交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、実査を含む継続的な意見交換の可能性について依頼。
人権	意図せず人権侵害に加担しないための管理態勢に係る対話。	商社 C社	2023年6月	<ul style="list-style-type: none"> 人権リスクが相対的に大きい海外を含め、子会社のリスク分析・対策を実施していることを確認。 サプライチェーンに係るリスク分析も実施し、2024年度以降に調査を行う予定であることを確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度の取組みを公開情報等でフォロー。 今後も継続的に対話を実施したい旨を投融資先に伝達済み。
自然資本	自然資本への依存度が相対的に高い業種の取組みに係る対話。	食料品 D社	2023年11月	<ul style="list-style-type: none"> 依存・影響が大きいカテゴリーの特定状況や、リスク・機会の分析状況を確認。 リサイクルに係る取組み状況を確認。財務影響（資本支出）への影響や、今後の研究開発に関して意見交換。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話した内容の対応状況を公開情報等でフォロー。 今後も対話を実施したい旨を投融資先に伝達済み。